

決算短信補足資料

(2017年3月期決算)

2017年4月28日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期 通期実績 B	対前年		2018年3月期 通期予想 C	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
【連結】							
営業収益	14,513	14,414	▲ 98	99.3	14,920	+505	103.5
営業利益	1,815	1,763	▲ 51	97.2	1,835	+71	104.0
経常利益	1,622	1,607	▲ 14	99.1	1,685	+77	104.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	858	912	+54	106.3	1,090	+177	119.4
【単体】							
営業収益	9,542	9,561	+18	100.2	9,670	+108	101.1
運輸収入	8,500	8,496	▲ 3	100.0	8,590	+93	101.1
営業費用	8,170	8,206	+36	100.4	8,280	+73	100.9
人件費	2,333	2,233	▲ 100	95.7	2,215	▲ 18	99.2
物件費	3,924	3,943	+19	100.5	4,030	+86	102.2
動力費	441	405	▲ 35	92.0	465	+59	114.6
修繕費	1,528	1,571	+42	102.8	1,580	+8	100.5
業務費	1,954	1,966	+11	100.6	1,985	+18	100.9
減価償却費	1,323	1,376	+53	104.0	1,370	▲ 6	99.5
営業利益	1,372	1,354	▲ 17	98.7	1,390	+35	102.6
経常利益	1,167	1,184	+17	101.5	1,230	+45	103.8
当期純利益	611	708	+97	115.9	830	+121	117.2

2. 単体損益計算書

(単位：億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,542	9,510	9,561	+18	100.2	+51
運輸収入	8,500	8,460	8,496	▲ 3	100.0	+36
その他収入	1,041	1,050	1,064	+22	102.1	+14
営業費用	8,170	8,175	8,206	+36	100.4	+31
人件費	2,333	2,230	2,233	▲ 100	95.7	+3
物件費	3,924	3,905	3,943	+19	100.5	+38
動力費	441	410	405	▲ 35	92.0	▲ 4
修繕費	1,528	1,540	1,571	+42	102.8	+31
業務費	1,954	1,955	1,966	+11	100.6	+11
線路使用料等	269	305	302	+33	112.5	▲ 2
租税公課	319	350	349	+30	109.5	▲ 0
減価償却費	1,323	1,385	1,376	+53	104.0	▲ 8
営業利益	1,372	1,335	1,354	▲ 17	98.7	+19
営業外損益	▲ 204	▲ 170	▲ 170	+34	83.0	▲ 0
営業外収益	63	65	61	▲ 1	-	▲ 3
営業外費用	268	235	231	▲ 36	-	▲ 3
経常利益	1,167	1,165	1,184	+17	101.5	+19
特別損益	▲ 155	▲ 35	▲ 165	▲ 10	-	▲ 130
特別利益	195	-	183	▲ 11	-	-
特別損失	350	-	349	▲ 1	-	-
当期純利益	611	780	708	+97	115.9	▲ 71

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2017年3月期 通期実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線		4,346	▲26 (99.4%)	基礎トレンド(101.2%)	+53	
				特殊要因	北陸新幹線開業反動	▲34
					熊本地震	▲27
					曜日配列 (シルバーウィーク、うるう年など)	▲25
					台風影響	+3
					インバウンド	+2
等						
在来線	近畿圏	3,050	+27 (100.9%)	基礎トレンド(100.5%)	+14	
				特殊要因	インバウンド	+8
					台風影響	+5
					京都鉄道博物館	+1
					曜日配列 (シルバーウィーク、うるう年など)	▲7
	等					
	その他	1,100	▲4 (99.6%)	基礎トレンド(99.7%)	▲3	
				特殊要因	曜日配列 (シルバーウィーク、うるう年など)	▲4
					台風影響	+3
					インバウンド	+0
等						
在来線計		4,150	+23 (100.6%)			
運輸収入計		8,496	▲3 (100.0%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

4. 運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2016年 3月期	2017年 3月期	対前年	2016年 3月期	2017年 3月期	対前年
全社計	8,500	8,496	▲3 100.0%	2,037	2,067	+29 101.5%
新幹線	4,372	4,346	▲26 99.4%	1,027	1,044	+16 101.6%
定期	101	102	+1 101.4%	25	25	+0 101.6%
定期外	4,271	4,243	▲28 99.3%	1,002	1,018	+16 101.6%
在来線	4,127	4,150	+23 100.6%	1,009	1,022	+13 101.3%
定期	1,410	1,415	+5 100.4%	338	339	+0 100.2%
定期外	2,717	2,735	+18 100.7%	671	683	+12 101.8%
近畿圏	3,022	3,050	+27 100.9%	737	748	+11 101.5%
定期	1,156	1,164	+7 100.7%	278	280	+1 100.6%
定期外	1,865	1,885	+20 101.1%	458	468	+9 102.1%
その他	1,105	1,100	▲4 99.6%	272	273	+1 100.6%
定期	253	251	▲2 98.9%	59	58	▲0 98.5%
定期外	851	849	▲1 99.8%	212	214	+2 101.2%

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2016年 3月期	2017年 3月期	対前年	2016年 3月期	2017年 3月期	対前年
全社計	58,341	58,271	▲69 99.9%	13,884	13,926	+42 100.3%
新幹線	20,449	20,348	▲101 99.5%	4,806	4,871	+64 101.3%
定期	804	815	+11 101.4%	198	197	▲1 99.2%
定期外	19,644	19,532	▲112 99.4%	4,608	4,674	+66 101.4%
在来線	37,891	37,923	+31 100.1%	9,077	9,054	▲22 99.8%
定期	22,764	22,723	▲41 99.8%	5,350	5,283	▲67 98.7%
定期外	15,127	15,200	+73 100.5%	3,726	3,771	+44 101.2%
近畿圏	29,522	29,592	+70 100.2%	7,078	7,064	▲14 99.8%
定期	18,714	18,689	▲24 99.9%	4,431	4,377	▲53 98.8%
定期外	10,808	10,903	+95 100.9%	2,647	2,686	+38 101.5%
その他	8,369	8,330	▲38 99.5%	1,998	1,990	▲7 99.6%
定期	4,050	4,033	▲16 99.6%	919	905	▲13 98.5%
定期外	4,319	4,297	▲21 99.5%	1,079	1,085	+6 100.6%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

科目	2017年3月期通期実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,233	▲ 100 (95.7%)	・退職手当減▲70 等
動力費	405	▲ 35 (92.0%)	・燃料費調整額減等▲34 等
修繕費	1,571	+42 (102.8%)	・大規模改修引当金積立+41 等
業務費	1,966	+11 (100.6%)	・新制服導入経費+20 ・システム関連経費増+9 ・広告宣伝費減▲25 等
線路使用料等	302	+33 (112.5%)	・北陸新幹線固定資産税相当額増 等
租税公課	349	+30 (109.5%)	・事業税増+16 等
減価償却費	1,376	+53 (104.0%)	・近畿エリア通勤形電車 等
営業費用計	8,206	+36 (100.4%)	

6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	14,513	14,455	14,414	▲ 98	99.3	▲ 40
営業費用	12,697	12,725	12,650	▲ 47	99.6	▲ 74
営業利益	1,815	1,730	1,763	▲ 51	97.2	+33
営業外損益	▲ 192	▲ 160	▲ 156	+36	81.0	+3
営業外収益	78	75	80	+2	-	+5
営業外費用	271	235	237	▲ 33	-	+2
経常利益	1,622	1,570	1,607	▲ 14	99.1	+37
特別損益	▲ 171	▲ 50	▲ 230	▲ 59	-	▲ 180
特別利益	215	-	196	▲ 18	-	-
特別損失	386	-	426	+40	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	858	1,025	912	+54	106.3	▲ 112
包括利益	1,048	-	920	▲ 127	87.9	-

7.セグメント情報

(単位：億円)

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	14,513	14,455	14,414	▲ 98	99.3	▲ 40
運輸業	9,287	9,242	9,291	+3	100.0	+49
流通業	2,320	2,358	2,339	+18	100.8	▲ 18
物販・飲食 ^{*3}	1,449	1,521	1,525	+75	105.2	+4
【宿泊特化型ホテル】	【103】	-	【108】	【+5】	【104.8】	-
百貨店	791	747	734	▲ 56	92.8	▲ 12
不動産業	1,088	1,074	1,095	+6	100.6	+21
ショッピングセンター	578	609	605	+26	104.6	▲ 3
不動産賃貸・販売 ^{*4}	492	447	472	▲ 20	95.8	+25
【分譲事業】	【195】	【136】	【161】	【▲ 34】	【82.4】	【+24】
その他	1,815	1,781	1,688	▲ 127	93.0	▲ 92
ホテル	365	366	362	▲ 3	99.0	▲ 3
旅行	416	428	420	+3	100.9	▲ 7
営業利益 ^{*2}	1,815	1,730	1,763	▲ 51	97.2	+33
運輸業	1,251	1,198	1,217	▲ 33	97.3	+19
流通業	53	49	52	▲ 0	98.7	+3
物販・飲食	46	-	51	+4	110.1	-
百貨店	3	-	▲ 1	▲ 5	-	-
不動産業	327	319	322	▲ 5	98.5	+3
ショッピングセンター	93	-	96	+3	103.6	-
不動産賃貸・販売	125	-	116	▲ 8	92.8	-
その他	224	199	204	▲ 19	91.3	+5
ホテル	27	-	24	▲ 2	91.9	-
旅行	4	-	6	+2	164.0	-

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高（外部売上高）を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。

内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*3} 【 】は宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の売上(外部売上高) (再掲) です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

^{*4} 【 】は分譲売上(外部売上高) (再掲) です。

8.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2016年3月期 期末 A	2017年3月期 期末 B	増減 B-A
資産	28,431	30,078	+1,646
負債	19,168	19,752	+584
純資産	9,263	10,326	+1,062
長期債務残高	10,018	10,379	+360
【長期債務平均金利(%)】	【2.25】	【1.97】	【▲0.28】
新幹線債務	1,346	1,046	▲299
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.28】	【6.55】	【+0.27】
社債	4,949	5,349	+400
【社債平均金利(%)】	【2.00】	【1.75】	【▲0.25】
自己資本比率(%)	30.9	31.3	+0.4
1株当たり純資産(円)	4,534.29	4,857.50	+323.21

	2016年3月期 通期実績 A	2017年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	2,598	2,341	▲257
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,332	▲ 2,958	▲625
フリーキャッシュフロー	266	▲ 616	▲883
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 313	443	+756
現金及び現金同等物の増減	▲ 46	▲ 173	▲127
現金及び現金同等物の期末残高	806	633	▲173

9.単体業績予想

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	9,561	9,670	+108	101.1
運輸収入	8,496	8,590	+93	101.1
その他収入	1,064	1,080	+15	101.5
営業費用	8,206	8,280	+73	100.9
人件費	2,233	2,215	▲ 18	99.2
物件費	3,943	4,030	+86	102.2
動力費	405	465	+59	114.6
修繕費	1,571	1,580	+8	100.5
業務費	1,966	1,985	+18	100.9
線路使用料等	302	305	+2	100.7
租税公課	349	360	+10	102.9
減価償却費	1,376	1,370	▲ 6	99.5
営業利益	1,354	1,390	+35	102.6
営業外損益	▲ 170	▲ 160	+10	94.1
営業外収益	61	60	▲ 1	-
営業外費用	231	220	▲ 11	-
経常利益	1,184	1,230	+45	103.8
特別損益	▲ 165	▲ 30	+135	-
特別利益	183	-	-	-
特別損失	349	-	-	-
当期純利益	708	830	+121	117.2

10.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期 通期予想 B	対前年	
				増減 B-A	比率(%) B/A
新幹線		4,346	4,417	+71	101.6
在 来 線	近畿圏	3,050	3,062	+11	100.4
	その他	1,100	1,110	+10	100.9
	在来線計	4,150	4,172	+22	100.5
運輸収入計		8,496	8,590	+93	101.1

※荷物収入は金額些少のため省略

11.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

科目	2018年3月期通期見通し		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,215	▲ 18 (99.2%)	・人員差 等
動力費	465	+59 (114.6%)	・燃料費調整額増 等
修繕費	1,580	+8 (100.5%)	・部外関連工事増 ・構造物対策経費減 等
業務費	1,985	+18 (100.9%)	・燃料費調整額増 等
線路使用料等	305	+2 (100.7%)	
租税公課	360	+10 (102.9%)	・固定資産税増 等
減価償却費	1,370	▲ 6 (99.5%)	・償却進捗 等
営業費用計	8,280	+73 (100.9%)	

12.連結業績予想

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	14,414	14,920	+505	103.5
営業費用	12,650	13,085	+434	103.4
営業利益	1,763	1,835	+71	104.0
営業外損益	▲ 156	▲ 150	+6	96.1
営業外収益	80	72	▲ 8	-
営業外費用	237	222	▲ 15	-
経常利益	1,607	1,685	+77	104.8
特別損益	▲ 230	▲ 40	+190	-
特別利益	196	-	-	-
特別損失	426	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	912	1,090	+177	119.4
1株当たり当期純利益 (円)	471.52	563.00	-	-

13.連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

	2017年3月期 通期実績 A	2018年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	14,414	14,920	+505	103.5
運輸業	9,291	9,390	+98	101.1
流通業	2,339	2,408	+68	102.9
物販・飲食 ^{*2}	1,525	1,642	+116	107.6
【宿泊特化型ホテル】	【108】	【117】	【+9】	【108.5】
百貨店	734	686	▲ 48	93.4
不動産業	1,095	1,387	+291	126.6
ショッピングセンター	605	591	▲ 14	97.6
不動産賃貸・販売 ^{*3}	472	777	+304	164.6
【分譲事業】	【161】	【349】	【+188】	【217.1】
その他	1,688	1,735	+46	102.8
ホテル	362	359	▲ 3	99.2
旅行	420	435	+14	103.5
営業利益	1,763	1,835	+71	104.0
運輸業	1,217	1,251	+33	102.7
流通業	52	70	+17	133.3
不動産業	322	355	+32	110.2
その他	204	190	▲ 14	92.8

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高（外部売上高）を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 【 】は宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の売上(外部売上高)（再掲）です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

^{*3} 【 】は分譲売上（外部売上高）（再掲）です。

14. 諸元表

(単位：人、億円)

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期予想
連結ROA (%)	6.4	6.0	6.1
連結ROE (%)	10.2	10.0	11.1
連結EBITDA ^{*1}	3,381	3,391	3,487
連結減価償却費	1,566	1,627	1,640
連結設備投資 (自己資金)	2,331	1,924	1,660
単体設備投資 (自己資金)	1,987	1,598	1,300
安全関連投資	1,260	1,050	790
1株当たり配当金 (円)	135	140	160

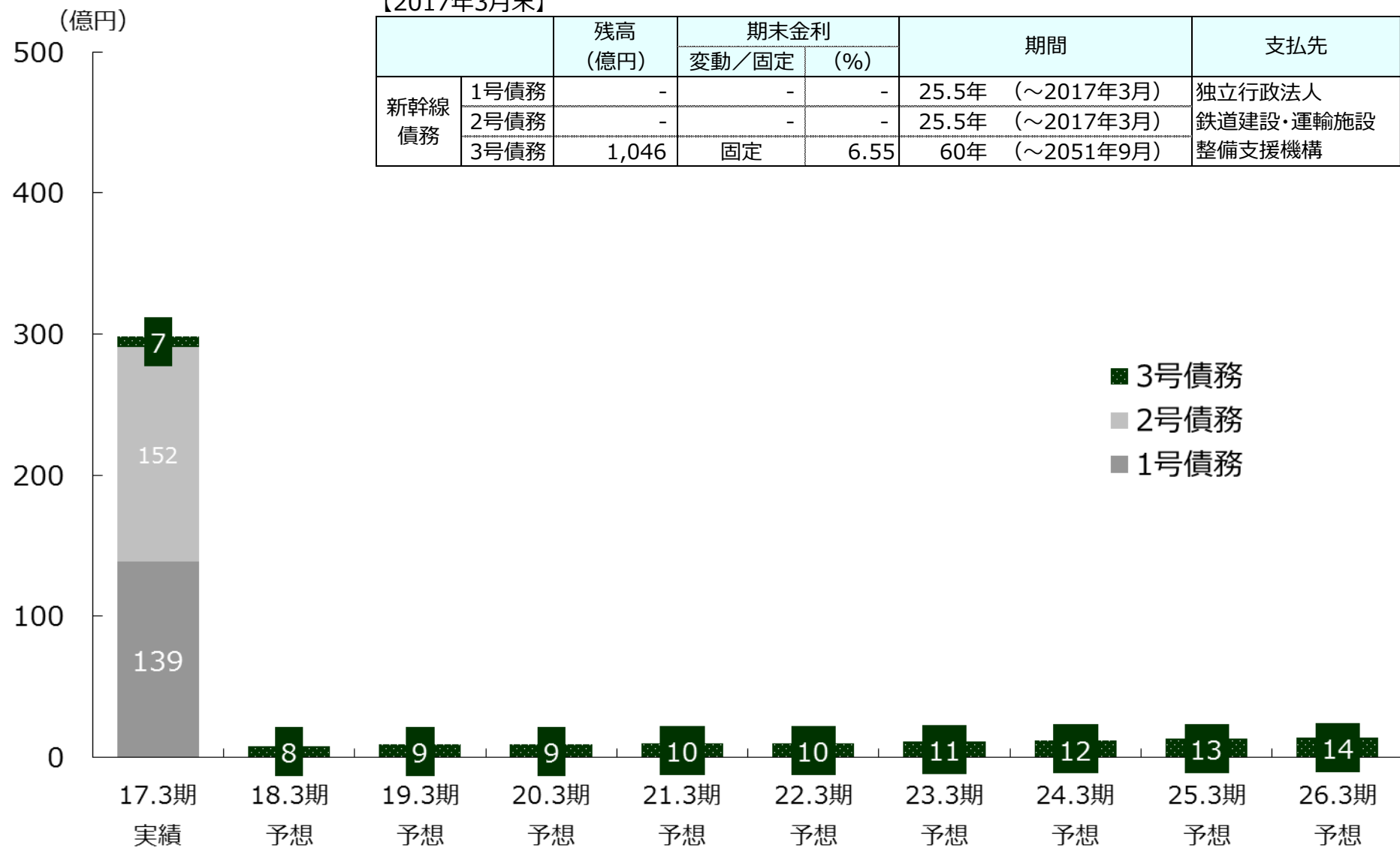
*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

	2016年3月期 通期実績		2017年3月期 通期実績		2018年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	47,456	26,555	47,382	25,821	-	-
金融収支	▲ 233	▲ 226	▲ 216	▲ 210	▲ 204	▲ 197
受取利息・配当金	7	15	6	11	6	11
支払利息	241	241	223	222	210	208

15.新幹線債務償還計画

【2017年3月末】

		残高 (億円)	期末金利		期間	支払先
			変動/固定	(%)		
新幹線 債務	1号債務	-	-	-	25.5年 (～2017年3月)	独立行政法人
	2号債務	-	-	-	25.5年 (～2017年3月)	鉄道建設・運輸施設
	3号債務	1,046	固定	6.55	60年 (～2051年9月)	整備支援機構



将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2017年4月28日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2017年4月28日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>